

ペットボトルが ペットボトルに 再生される 社会を目指して

- ・ペットボトルは、他のプラスチック製品に比べ資源としての価値が高く、ペットボトルへの再生（水平リサイクル）が何度でも可能です。
- ・ペットボトルは、国内全体で年間約254億本^{※1}販売され、うち約87%^{※1}がプラスチック製品等に再利用されていますが、ラベルやキャップの分別が徹底されていないことなどから、何度でもリサイクル可能なペットボトル材料としては、約29%^{※1}とまだ少ない状況です。しかしながら、その割合は年々着実に増加しています。

3 分別の徹底

会議、イベント、自動販売機等で提供するペットボトル

自動販売機の例

①ボトル本体 ②ラベル ③キャップ

ペットボトルは 3分別

回収ボックスは、「缶・ビン」、「ペットボトル・ラベル」、「キャップ」と3種類

3分別された後、梱包される

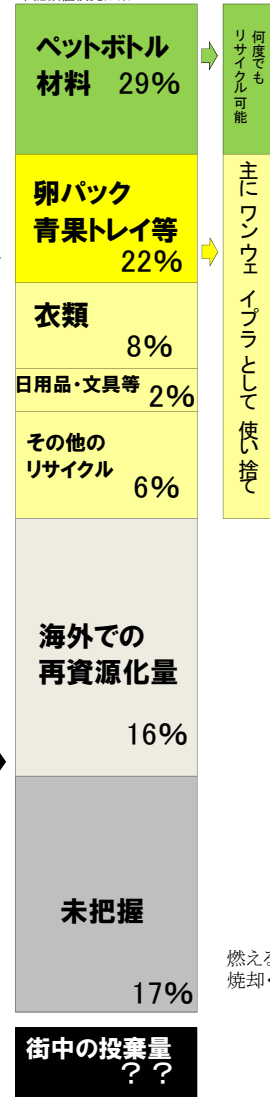
不十分な分別

自動販売機の例

不十分な分別の例

分別されずに、梱包される

下記数値根拠は※2



ペットボトル材料として約29%が利用されている。

(出典) ※1：PETボトルリサイクル推進協議会 PETボトルリサイクル年次報告書2023から引用
 ※2：PETボトルリサイクル推進協議会 PETボトルリサイクル年次報告書2023から推計